

4月保健ガイド

母子保健・予防接種 問 子ども家庭課 ☎56-0210

内容(予は要予約)	とき	対象(対は対象)
保健センター 親子健康手帳交付	20日(月)	10:00集合 妊婦
	30日(木)	
	予 パパママ教室(1回目) ※定員9組	16日(木)
予 パパママ教室(2回目) ※定員9組	25日(土)	9:00受付～11:15終了 主に妊娠7か月以降の初妊婦とそのパートナー ※3日前までに予約がない場合は中止
予 妊婦訪問	訪問は予約制です。(希望者は子ども家庭課へ連絡してください) 妊婦(訪問は妊娠中1回)	
こんにちは赤ちゃん訪問	3～4か月児健診受診前 すべての赤ちゃんとその保護者	
のびのび計測日※1 青少年児童センター	13日(月)	10:00～10:30受付 未就園児※1 医師の診察はありません 持 親子(母子)健康手帳・乳児の場合はバスタオル
予 妊産婦歯科健康診査	予約してから、市内委託医療機関で受診してください 妊婦と産後1年未満の産婦	

市内委託医療機関で予約	対	ワクチン	対象年齢
予 ロタウイルス	対	1価ワクチン	出生6～24週
予 B型肝炎	対	生後1歳未満	
予 小児用肺炎球菌	対	生後2～60月未満	
予 5種混合	対	生後2～90月未満	
予 BCG	対	生後1歳未満	
予 麻しん・風しん混合(MR)	対	第1期 生後12～24月未満 第2期 小学校入学前の1年間	
予 水痘	対	生後12～36月未満	
予 日本脳炎	対	1期 生後6～90月未満、2期 9～13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり	
予 2種混合	対	11～13歳未満	
予 HPV	対	小学6年生～高校1年生の女子	
予 RSウイルス	対	妊娠28週0日～36週6日の妊婦	

成人保健・予防接種 問 健康推進課 ☎63-3300

定期予防接種	予 带状疱疹	対 2026年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる人または60～64歳のヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能などに障がいがある人
	予 高齢者肺炎球菌	対 65歳の人または60～64歳で心臓・腎臓・呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能などに障がいがある人 ※4月1日～20価ワクチンを使用します。

<任意予防接種助成> 風しんワクチン・带状疱疹ワクチンの接種費用の一部を助成します(対象者に限る)。
<成人保健> 2026年度の健診等の案内は4月下旬に対象者に送付します。

その他お知らせ

納期限(4月30日)		
税目	納期	問合先
固定資産税・都市計画税	第1期	収納課 ☎56-0610
介護保険料	第1期	長寿課 ☎56-0613

口座振替の人は、納期限の日に引き落としますので、前日までに残高を確認してください。

日曜・祝日の受診は	
東名古屋医師会休日急病診療所 ☎0561-73-7555	
診療日時	日曜・祝日・年末年始 9:00～16:30 (昼休憩1時間あり)
診療科目	内科・小児科
所在地	日進市蟹甲町中島22

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター
☎0561-82-1133



24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎0561-62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳しくは愛知医科大学病院へお問合せください。

まちの保健師

保健師がさまざまな場所に出向き、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。



ドクターからあなたへ

皮膚腫瘍

なかた形成・皮ふクリニック なかたみつぎ 中田実樹

皮膚にはさまざまな腫瘍が生じます。皮膚の表面だけではなく、皮膚の下にできるものもあります。できる場所の違いのほか、良性腫瘍と悪性腫瘍という分け方があります。

良性腫瘍は、ほくろ、粉瘤、脂肪腫、石灰化上皮腫など、一方で悪性腫瘍は、基底細胞癌、扁平上皮癌、ボーエン病、悪性黒色腫などが挙げられます。良性腫瘍と悪性腫瘍は治療方法が異なります。良性腫瘍の基本的な治療はできものだけを摘出する手術になりますが、悪性腫瘍は、放置すると局所で進行して増大するため、早めに病気の部分を正常な部分も含めて大きく切除する必要があります。切除後はできるだけ変形が生じないよ

うに、各種再建手術を行うことがあります。良性腫瘍の場合、病変を完全に切り切れば再発の可能性はほとんどありません。ただし、いくつかの腫瘍はできやすい体質なども関わるため、他の場所に同じ腫瘍ができることがあります。悪性腫瘍の場合、形成外科では単に切除するのではなく、変形が最小限になるよう工夫して再建します。また、悪性腫瘍の種類によっては化学療法などを合わせて行うことや、長期的に経過観察が必要になることがあります。

皮膚に「できもの」ができ、無くならなければ医療機関を受診してみてください。